

学校評価報告

令和6年度における「学校評価」の実施内容を以下のとおり報告いたします。

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人亀井学園 清新めぐみ幼稚園

1 本園の教育目標

本園は、遊び、友達との関わり、専門講師による造形・体操・音楽・英語指導等を通して、創造性豊かで自主自立心が強く実践力があり、明るく健やかな幼児の育成を教育目標としています。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、平常保育や年間行事を通して、幼児一人一人の成長につながる教育を実践するとともに、幼児の情操教育の一環として専門講師・教員の働きかけで園児が主体的な活動ができるように音・アスレチック活動に重点的に取り組めるようにいたします。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
1 教育目標に基づき教育課程、指導計画を作成し、教職員間で共通理解を深めながら幼児を指導します。また、子供たちが主体的に取り組めるよう専門講師の指導に基づき、アスレチック活動やバルーンに関して探究活動を行い、健康的で情操豊かな子供が育つよう働きかけます。	4.5	園の教育方針に基づき、朝礼、終礼、職員会議などで情報を共有しながら幼児教育に努めました。また、専門講師のアドバイスをいただきながら、とうきょうすくわくプログラムを実施し、子どもたちが自発的に考え行動し、友だちとも協力しながら遊びの幅を広げていきました。
2 地震・津波・火災・不審者に対する教職員・幼児の安全対応能力向上のため防災・防犯訓練を実施します。	4.5	近隣の皆様の協力を得て、避難訓練、防災訓練、防犯訓練を毎月実施しました。教職員の役割を再確認し、子どもたちが安全且つスムーズに行動できるよう配慮しました。
3 園内・園外研修への参加や課題の解決、教職員同士の話し合いを通じて教職員の資質向上に努めます。	4.6	園内研修、園外研修で講義を受けレポートを作成、教職員間でも情報を共有し合いました。また、他園の先生方とディスカッションしあい保育の向上に努めました。
4 保護者との連携・協力により、年間行事や日々の保育を円滑に進行させ、教育内容の充実を図ります。	4.5	保護者との連携、協力をいただきながら、日々の生活や行事運営を考え遂行して参りました。また、裸足遊びや食育、異年齢交流など積極的に取り組み、とうきょうすくわくプログラムでも自発的に活動に取り組みました。
5 特別支援児ごとに指導・支援計画を作成し、関係機関の協力を得ながら特別支援教育内容の充実を図ります。	4.0	江戸川区の発達巡回支援や臨床心理士の先生の講演及びカンファレンスを取り入れアドバイスをいただきました。また、各機関の療育の先生がお見えになり、お子さまに合った保育をする上での助言をいただきました。
6 保護者の実情や要望に沿った預かり保育を実施します。また、地域教育事業にも携わります。	4.6	預かり保育は、外遊びも多く取り入れ、他学年との交流を深めながら楽しく参加しておりました。また、江戸川区主催のふれあいまつり、花植えボランティア、絵本の読み聞かせなど地域交流にも取り組みました。

評価（5：十分に達成 4：達成 3：おおむね達成 2：要努力 1：改善を要する）

4 総合的な評価結果

評価	理由
	子どもたちを褒めて伸ばす「褒め育」を心掛け、一人一人に寄り添った保育が出来るよう実践して参りました。また、食育や裸足遊び、異年齢交流も取り入れ幼児の成長に役立ちました。インスタやアプリで配信しているクラスでの子どもたちの様子も好評で、楽しみにされてる保護者の方が多かったです。次年度もお子さまファーストで保護者の意見を取り入れながら教職員一同励んで参ります。

5 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1	東京すくわくを実施することにより、遊びの幅も広がりが子どもたちが自発的に取り組む姿が見受けられるようになりました。異年齢も体験していけるよう積極的に取り組んで参ります。
2 特別支援	特別支援教育について関係機関と連携を図り、職員間でも共有しながら一人でも多くの子どもたちが充実した生活を送れるよう取り組んで参ります。

6 学校関係者評価委員会の評価

子ども一人ひとりに対して個人を尊重し、一人ひとりに合う言葉掛けや接し方をして下さり、安心して送り出すことが出来ました。保護者の悩みや話を教職員の皆様が親身に受け止めて、解決に導いて下さいました。また沢山の行事、運動会・音楽会・クリスマス祝会があり、沢山の講師の先生に触れ合う機会も多く「挨拶」「礼儀」「やり遂げる」「頑張る気持ち」「探究心」などが身に付いたと思っております。